

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61010-1 (2010) Ed. 3.0 計測等用機器の安全要求: 解釈シート 1	3
IEC: 規格速報: IEC 61010-2-201 Ed. 1.0 制御機器の特定要求事項 発行	4
IEC: 新規格リスト	5
ISO: 新規格リスト	7
国際テーマ: コスモスニュースから各国認証関連情報を再掲	8

USA: FCC: Parts 0, 1, 2, 15 の修正: 機器認証: TCB、証明の必要な全ての製品を認証	10
USA: OSHA : NRTL: 米国認証試験機関プログラム会議招集	16
USA: CPSC: 高濃度増感剤についてのガイダンス: 入手可能	18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	19
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE : 新規格リスト	21
Canada: ICES-002 Issue 6— 内燃エンジン 電気手段等により推進される車両等が発行	23

EU: CENELEC: 規格解説: EN 55016-2-3:2010/AC:2013	25
EU: 整合規格リスト発表: 機械指令	25
EU: UNECE: EU の車製造会社が国際舞台に - 全世界の車承認を一度で - 準備中	26
EU: プログラマブル機器に関する製造会社及び供給者へのガイダンス	27
EU: 規制 (EU) No 174/2013 発行: エネルギースター協定の再締結	28
EU: CENELEC: 新規格リスト	30
EU: ETSI: 新規格リスト	32
オーストラリア: 単一適合マークへの移行 “ラベリング及び記録保持に関する情報”	33

中国: CQC: エアコンの強制認証 新版規格実施に関する要求についての公告	34
中国: CQC: 電動工具一部製品の強制認証 新版規格実施に関する要求についての公告	34
中国: CQC: 独立型太陽光発電システム認証規則改定に関する通知	35
中国: CQC: 水力タービン制御システム安全認証業務開始に関する通知	36
中国: CQC: 中小型水力タービン発電機励磁システム安全認証業務開始に関する通知	36
中国: CQC: 電線ケーブル製品強制認証の新版規格の実施に関する要求の公告	37
中国: 新規格リスト	38
韓国: 放送通信機資材などの適合性評価に関する告示の一部改正案: 意見募集	39
台湾: BSMI: 本局の製品検証委託業務に電子オーディオ、ビデオ製品を追加する公告	40
台湾: 新規格リスト	40

総務省: 電波法施行規則及び無線設備規則の一部を改正する省令案等 -広帯域電力線搬送通信設備の屋外利用-	41
総務省: 「デジタル特定ラジオマイクの技術的条件等」委員会 報告 (案): 意見の募集	42
総務省: 広帯域移動無線アクセスシステムの高度化のための周波数の割当て 意見募集	42
経済産業省: 「電気用品安全法 登録検査機関業務実施要領」が公表	43
経済産業省: 「電気用品の範囲等の解釈について」改正	43
VCCI: 2013 年度 VCCI 規程集を掲載	43
コスモス・コーポレーションからのご案内: 校正業務	9
ちょっといっぽく: 小クイズコーナー RoHS2 の適用範囲について	24
社長の独り言	44
A2LA 認定校正サービス	45



IEC: 規格解説: IEC 61010-1 (2010) Ed. 3.0 計測等用機器の安全要求: 解釈シート 1

“発電機 generator は、少なくとも 500 VA の電力を供給できなければならない”の解釈

USA: FCC: Parts 0, 1, 2, 15 の修正: 機器認証: TCB、証明の必要な全ての製品を認証

規則制定提案の通知 NPRM FCC 13-19 が、February 15, 2013、発行された

A. TCB プログラム

1. RF 機器の証明 Certification

- TCB プログラムが定着してきたので、「委員会は、最早、直接機器認証の授与を行わない、そしてその代わり、TCB が証明の必要な全ての製品を認証することを、許可する」ことが、提案される。従来の、TCB が証明を行えない機器（これらに対しては委員会が唯一の機器承認機関である）を記載した除外リストを無くし、承認前ガイダンス手続きを確立する

2. ポストマーケット査察 surveillance

- 委員会はその工学技術局 OET により、ポストマーケット査察要求に関する KDB を発行する。この文書により、TCB が試験しなければならないサンプルの数や型式など、具体的な情報が規定される

B. 試験ラボ

- 試験ラボの認定 Accreditation 規則の Parts 15 及び 18 のもと証明 certified される機器を試験するラボに対するリスティングプログラムは廃止される。証明及び DoC に従う機器を試験する全てのラボは、ISO/IEC 17025 に対し認定されるべきことが、要求される。

C. 測定手順

- Part 15 デバイス 意図的放射器 の要求との適合遵守を確認するのに使用する手順として、ANSI C63.10-2009、そして、非意図的放射器の遵守を確認するのに使用する手順として、ANSI C63.4-2009 を使用すべきことが、規定される。

USA: OSHA : NRTL: 米国認証試験機関プログラム会議招集

- 米国労働安全衛生局 (OSHA) は関係者に対し、米国認証試験機関 (NRTL) プログラムポリシーに関する非公式会議への参加を求めている。会議では、NRTL の独立性、初回申請の手続きおよびスケジュール、更新手続きについて重点的に議論する。

Canada: ICES-002 Issue 6 – 内燃エンジン、電気手段、又は、両者により推進される 車両、ボート及び他のデバイス 発行

- 本 妨害-引き起こし機器規格は、2009 年 8 月に発行の ICES-002, Issue 5, を置き換える。

EU: 整合規格リスト発表: 機械指令

- 2013 年 4 月 5 日付けの EU 官報にて、欧州機械指令 2006/42/EC の整合規格リストが公表。

EU: プログラマブル機器に関する製造会社及び供給者へのガイダンス

- Class 1 機器: 完全に整合化されたスペクトラムで運用され 免許なしで運用できるターミナル及び無線機器 プログラム可能機器の場合、最終使用者が容易にプログラムできない、そして、Class 1 デバイスとして動作するよう製造会社によりあらかじめ設定されている機器

経済産業省: 「電気用品安全法 登録検査機関業務実施要領」が公表

- 経済産業省 HP 解釈・Q & A に、「電気用品安全法 登録検査機関業務実施要領」（PDF 形式、約 430KB）が追加された。

A2LA 認定校正サービス

電圧、電流、電力、RF、EMC 測定機器ほか

ISO/IEC 17025:2005 校正試験所として A2LA に認定

コスモス・コーポレーションは「ISO/IEC 17025:2005 & ANSI/NCSL Z540-1-1994」に適合した校正試験所として、2011 年 8 月 4 日付けで A2LA に認定を受けました。
(認定番号=2900.02) これにより、電圧、電流、電力、RF、EMC 機器等について、A2LA および ILAC 認定の校正証明書を発行できるようになりました。

ILAC とは？

『ILAC』(International Laboratory Accreditation Cooperation) は、世界で最も権威ある校正試験所認定の国際組織です。ILAC の認定を受けるということは、ISO/IEC 17025 に基づく品質管理体制のもと、世界各国で受け入れ可能な信頼性の高い校正サービスを提供できることを意味します。

A2LA 認定校正業務範囲

コスモス・コーポレーションでは、A2LA に認定された業務範囲において、A2LA および ILAC 認定シンボル付きの校正証明書を発行することができます。以下は、その認定校正業務範囲の一例です。

A2LA とは？

『A2LA』(The American Association for Laboratory Accreditation) は ILAC に加盟している試験所認定機関の一つです。認定範囲は、電気、機械、医療、化学、材料など多岐に及びます。

校正対象	校正項目	校正範囲
直流電圧	直流電圧発生	10mV ~ 1000V
	直流電圧測定	1mV ~ 1000V
直流電流	直流電流発生	10uA ~ 100A
	直流電流測定	1uA ~ 1A
交流電圧	交流電圧発生	10mV ~ 700V
	交流電圧測定	10mV ~ 700V
交流電流	交流電流発生	1uA ~ 100A
	交流電流測定	1uA ~ 1A
直流抵抗	直流抵抗	1Ω ~ 100MΩ
	直流抵抗測定	1Ω ~ 1GΩ
交流電力	交流電力測定	100W, 1kW
	直流電圧	1V ~ 1000V
オシロスコープ	交流電圧	1V ~ 700V
	周波数応答	1kHz ~ 1MHz
RF 電力	RF 電力発生	9kHz ~ 18GHz
	RF 電力測定	9kHz ~ 26.5GHz
RF 伝送路	インピーダンス	9kHz ~ 8.5GHz
	VSWR	9kHz ~ 8.5GHz
EMC 測定器	EMI レシーバ	9kHz ~ 3GHz
	LISN	9kHz ~ 3GHz
	アンテナ	25MHz ~ 1000MHz
	スペクトラム・アナライザ	9kHz ~ 3GHz
周波数	周波数発生	10Hz ~ 18GHz
	周波数測定	10Hz ~ 40GHz
	基準周波数	10MHz

※お問合せは——業務推進部 [sales@cosmos-corp.com] まで

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC 及び安全(EMC and Safety) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行：年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購読案内は、http://www.safetyweb.co.jp/?page_id=1113

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2013-05-01 (No. 42)

発行所： 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人： 濱口慶一

編集人： 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2013 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。